

湖北の アール・ブリュット展 2016

ART BRUT IN KOHOKU 2016

第30回 長浜芸術版楽市楽座
アート・イン・ナガハマ

ain
長浜
芸術版
楽市楽

無垢な心が生み出すアートに、先入観は要らない



■ **とき:**
平成28年 **10月1日[土]**
2日[日]
10時~17時
※2日は16時にて終了いたします



■ **ところ:** 長浜市 **曳山博物館**
伝承スタジオ



同時開催

まちなか
Art Brut

アール・ブリュット
ことのない人のやさしさ、それを包み込むあたたかい心を表現します。
展示マップを片手に、ぜひ展示作品を巡ってみてください。

江戸時代の商家の竹まいを色濃く残す長浜の中心市街地。その軒先や、オープンスペース、坪庭等でアール・ブリュット作品の展示を行います。

歴史を感じさせる町家の風景と、現代のアール・ブリュット作品との調和で、時代と共に変遷する環境と、変わ



■ **日時:** 平成27年 9月24日[土]~10月2日[日]まで
■ **場所:** 長浜中心市街地【黒壁スクエア一帯】各所にて

入場無料



湖北の アール・ブリュット展 2016

ART BRUT
IN KOHOKU 2016

開催に際して

湖北アール・ブリュット展推進会議 理事長/アートディレクター
廣部 猛司

今年も「湖北のアール・ブリュット展2016」を開催することとなりました。2012年の第一回開催以来、沢山のご好評のお言葉を賜り、スタッフ一同、感謝しております。

今回の「湖北のアール・ブリュット展2016」では、昨年引き続き、作品を傾向別に分類することで、作品より深く感じていただける心がけています。ぜひともお楽しみください。

また、今年から「まちなか Art Brut」と題してまちなかの辻々にも、作品を展示させていただいております。この機会に地元滋賀・湖北のアール・ブリュットを通して、滋賀県内外の多くの方々にこの「生の芸術」に触れていただくきっかけとなることを願っています。

人の「心」は他者から見えません。そのため、私たちは常に他者の内面を想像するしかなく、同じ人やモノに対しても、それぞれ異なる想いを持つことはよくあることでしょう。その想いはどれも「本物」ですが、一方で、どこにも本当の正解がないと言えます。それでも私たちは、それぞれの本当の想いを排除することなく、お互いを認め合い、今とは別の方法で他者を受け入れることが求められているのではないのでしょうか。

作品と向き合い、作家の内面＝感覚に少し触れられたと感じられたときに、見る側も「創造性の源泉からほとばしる真に自発的な表現」を体感できるように思うのです。そしてその感覚は私たちの心を鷲掴みにしていきます。その感覚を是非「湖北アール・ブリュット展2016」にご来場いただき、作品の力強さに心を鷲掴みにされ、受け入れ、楽しんでいただけたら光栄です。スタッフ一同、心よりお待ち申し上げております。

アール・ブリュットとは

アール・ブリュットとは、特に芸術の伝統的な訓練を受けず、受け入れた知識に汚されず、古既成の芸術の流派や傾向・モード・流行など一切とらわれることもなく、また名声を目指すでもなく、何者にも影響されない、作家自身の創造力の源泉から湧き上がる、真に自発的で自然発生的な芸術表現のことです。

「湖北のアール・ブリュット展2016」では、湖北地域に点在するしょうがい者の芸術作品を広く集め、展覧会を開催いたします。この機会にぜひ、何者にも影響されない「生の芸術」の世界を肌で感じてください。

湖北アール・ブリュット展推進会議とは

創造性の源泉からほとばしる真に自発的な表現「アール・ブリュット」。このアール・ブリュットを広く普く浸透することを目的として、アール・ブリュットの地位・認知度の向上を図るべく、湖北地域のしょうがい者による芸術作品を広く集め、展覧会を開催する団体です。

私たちは、作家(しょうがい者)の経済的自立とやりがいを感じてもらえるものとなるよう、諸々の権利と作家の意向に留意しつつ、幅広く展開したいと考えています。



昨年の展示より▶

Art Brut 創作工房 開設

■ 湖北アール・ブリュット展推進会議は、創作の場づくりも推進しています。■

上限5名で、しょうがいのある方を対象とした陶芸教室を定期的で開催します。あなたの感性と陶土とのふれあいの中で、心豊かなひとときを過ごしていただくと共に、あたたかみのあるステキな作品に期待します。

※参加に際しては保護者もしくは支援者の同伴をお願いします。
※駐車スペースに限りがありますので、事前にお問い合わせください。
※出来上がった作品は、作者にお返ししますが、記録として写真を保存させていただきます。

- 参加費：3,000円 (陶土代・講師料を含む)
- 場所：十里街道生活工芸館 テオリア
(滋賀県長浜市神前町1-24)
- 日程：要相談(参加のお申込をいただいた後、開講日程を調整いたします。まずは参加希望をお聞かせください)
- お問い合わせ：生活工芸館 テオリア [0749-65-7341] まで

アール・ブリュットの楽しさ

— 創造力の源泉からほとばしる芸術表現、アール・ブリュット。その楽しみ方 —

大橋 優子 (こども造形教室 講師・画家)

美術館で鑑賞する際は、見て感じたことや第一印象を大切にその後解説を読む。そのギャップであったり、作品の背景に潜むものを感じるようにしている。そういった鑑賞方法が私の芸術作品の楽しみ方です。

ところが、アール・ブリュットと呼ばれる作品は、どれもが直情的でストレートに表現されている。それゆえに、作品を読み解く前から心を鷲掴みにされる。それは作家の心が無垢のまま、自分の思いをカタチにしているからではないでしょうか。

心の琴線に直接触れてくるこれらの作品に出会うことは、私にとって無条件に楽しいことなのです。

前田 正史 (創作工房・ギャラリー「テオリア」)

「アールブリュットって、なに?」。一般的にはそんな質問をされることが多い。また、どこからどこまでがアール・ブリュットなのか、その定義はさらに難しい。

そこで私は「光る作品」と、敢えて言いたい。彼らの作品に光をあてるのではなく、彼らの作品が光を放つから魅了されるのです。滋賀がアールブリュットの先進地であるのは、社会福祉の父と呼ばれる糸賀一雄先生の「この子らを世の光に」の理念と相通じるところがあるからではないでしょうか。世の中の雑念に汚れていない、まさに「生の芸術」が、ストレートに心を震わせることに、人々は今にして少しずつ気が付いてきたのではないのでしょうか。